

表 5. 看護師 履修モデル

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ コンピュータ・リテラシー レポート作成論 大学と人生 統計学 ベーシック・イングリッシュⅠ (科目区分：必修選択) ライフデザイン 思想と論理 国際理解 沖縄理解 人文科学 健康スポーツ 社会科学 外国語 自然科学			
専門基礎教育科目	解剖生理学 病態生理学 (含：病理学) 生化学 人間関係論 生涯発達論 看護と福祉 医療英語 家族社会学 (含：ジェンダー論)	病態治療学Ⅰ (内科系疾患) 病態治療学Ⅱ (外科系疾患) 病態治療学Ⅲ (小児疾患) 病態治療学Ⅳ (母性疾患) 病態治療学Ⅴ (精神疾患) 老年学 薬理学 微生物学 栄養学Ⅰ 栄養学Ⅱ 公衆衛生学 保健福祉行政論 産業看護学 保健医療と法 精神保健 免疫学 疫学 学校保健 保健行動論	健康相談活動の理論と方法 養護概説	保健統計学
専門教育科目	看護学概論 看護援助論 基礎看護技術Ⅰ	基礎看護技術Ⅱ 看護実践方法論 フィジカルアセスメント 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 母性看護学概論 小児看護学概論 高齢者看護学概論 精神看護学概論 公衆衛生看護学概論 家族看護学 感染看護 国際看護学Ⅰ 沖縄の文化と看護 島嶼過疎地看護論	成人看護学方法論Ⅱ リハビリテーション看護論 小児看護方法論 精神看護方法論 高齢者看護方法論 在宅ケア論 母性看護方法論 看護研究方法 ターミナルケア論 国際看護学Ⅱ	卒業研究 看護実践と理論 看護政策論 看護管理 看護教育論 災害看護論
臨地実習	ケアリング文化実習 基礎看護実習Ⅰ	基礎看護実習Ⅱ 公衆衛生看護実習Ⅰ	在宅ケア実習 成人看護実習Ⅱ 母性看護実習 小児看護実習 高齢者看護実習 精神看護実習	成人看護実習Ⅰ 総合実習

※下線の科目は選択科目である。

※国際看護学Ⅱ (選択科目) は2年次～4年次の間で履修できる

保健師課程選択コース

1. 保健師国家試験受験資格要件の科目の選択制について

平成24年度入学生から保健師国家試験受験要件の科目は選択制となり、2年次後期のGPAや面接等を参考に、30名（編入学生含む）の保健師国家試験受験要件科目（以下、保健師課程選択コース）の選択者が決定される。保健師課程選択コースは、必修科目数および授業時間数が多いため、看護師国家試験受験資格のみ取得するカリキュラムと比較すると、過密なスケジュールが予想される。どのような大学生生活を送りたいのか、将来、どのような看護専門職になりたいのか等をよく考えて履修計画を立てることが大切である。また、保健師課程選択コースのカリキュラムは、教職科目との講義時間や実習期間の重なりが多く、教職科目の履修が出来ない可能性が高い。保健師国家試験受験資格と養護教諭一種免許状の両方を、在学中に同時に取得することは非常に困難である。養護教諭一種免許状に関しては、卒業後に科目履修を行って、免許状を取得する方法もあるので、学年担当教員および教職課程委員の教員と相談して履修計画を行うことをすすめる。

表 6. 保健師国家試験受験資格要件の選択科目

受講年次		授業科目名	単位数	科目区分	区 分	
2年生	後	学校保健	2	環境の理解	専門基礎教育科目	
	後	疫学	2	環境の理解		
	後	保健行動論	1	環境の理解		
	後	島嶼・過疎地看護論	1	総合看護	専門教育科目	
3年生	前	公衆衛生看護活動論	2	公衆衛生看護		
	前	公衆衛生看護方法論Ⅰ	2	公衆衛生看護		
	前	公衆衛生看護方法論Ⅱ	2	公衆衛生看護		
4年生	前	保健統計学	2	環境の理解		専門基礎教育科目
	前	公衆衛生看護管理論	2	公衆衛生看護		専門教育科目
	前	公衆衛生看護実習Ⅱ	1	公衆衛生看護		
	前	公衆衛生看護実習Ⅲ	3	公衆衛生看護		
	後	看護政策論	1	総合看護		
	後	看護実践と理論	1	総合看護		
計			22			

※2年生の開講科目は、保健師課程選択コース希望者以外でも履修できる。

※3年生と4年生の科目は保健師課程選択コース学生のみ履修する。但し、「看護政策論」「看護実践と理論」「保健統計学」は、選択コース学生以外でも履修できる。

2. 保健師国家試験受験資格要件の科目履修計画について

保健師国家試験受験資格要件となる単位数は、卒業要件である 129 単位に加えて、22 単位を追加し、合計 151 単位の取得が必要である。保健師課程選択コースは、2 年次前期から履修を開始し、4 年間で表 6 に示した選択科目（保健師課程選択コース必修科目）の履修が必要である。また、2 年生後期までの GPA や面接等を総合的に評価して、30 人（編入生含む）の保健師課程選択コース選択者を決定する。2 年生後期に保健師課程選択コースの選択学生が決定され、3 年生からは、看護師国家試験受験要件（卒業要件）に必要な科目の履修と保健師課程選択コースの必修科目が開始される。

3 年生前期は「公衆衛生看護活動論」「公衆衛生看護方法論Ⅰ・Ⅱ」を履修しなければならない。

4 年生前期は、「公衆衛生看護管理論」「保健統計学」「公衆衛生看護実習Ⅱ・Ⅲ」を履修する。「公衆衛生看護実習Ⅱ・Ⅲ」の前提条件は、3 年生後期までに履修した全ての科目および実習の単位を取得することが条件となる。4 年生後期は、卒業に必要な看護の科目に加えて「看護実践と理論」や「看護政策論」などの総合看護の科目を履修する。看護の卒業要件の科目の 129 単位に追加して 22 単位を取得することで、保健師国家試験受験資格が得られる。

なお、保健師免許を取得後、申請により養護教諭二種の免許状が取得できるが、憲法と体育実技Ⅰ・Ⅱ、ベーシック・イングリッシュⅡが履修条件となっている。

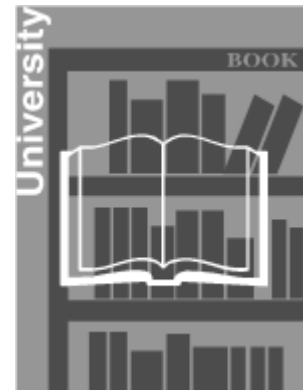


表7. 保健師課程選択コース 履修モデル

	1年次	2年次	3年次	4年次
教養教育科目	教養演習Ⅰ 教養演習Ⅱ コンピュータ・リテラシー レポート作成論 大学と人生 統計学 ベーシック・イングリッシュⅠ 思想と論理 国際理解 沖縄理解 人文科学 健康スポーツ 社会科学 外国語 自然科学			
専門基礎教育科目	解剖生理学 病態生理学 (含：病理学) 生化学 人間関係論 生涯発達論 看護と福祉 医療英語 <u>家族社会学 (含：ジェンダー論)</u>	病態治療学Ⅰ (内科系疾患) 病態治療学Ⅱ (外科系疾患) 病態治療学Ⅲ (小児疾患) 病態治療学Ⅳ (母性疾患) 病態治療学Ⅴ (精神疾患) 老年学 薬理学 微生物学 栄養学Ⅰ 栄養学Ⅱ 公衆衛生学 疫学 保健福祉行政論 産業看護学 保健医療と法 精神保健 学校保健 保健行動論	<u>健康相談活動の理論と方法</u> <u>養護概説</u>	保健統計学
専門教育科目	看護学概論 看護援助論 基礎看護技術Ⅰ	基礎看護技術Ⅱ 看護実践方法論 フィジカルアセスメント 成人看護学概論 成人看護学方法論Ⅰ 母性看護学概論 小児看護学概論 高齢者看護学概論 精神看護学概論 公衆衛生看護学概論 家族看護学 感染看護 国際看護学Ⅰ 島嶼過疎地看護論 沖縄の文化と看護	成人看護学方法論Ⅱ リハビリテーション看護論 小児看護方法論 精神看護方法論 高齢者看護方法論 在宅ケア論 母性看護方法論 看護研究方法 公衆衛生看護活動論 公衆衛生看護方法論Ⅰ 公衆衛生看護方法論Ⅱ <u>ターミナルケア論</u>	卒業研究 看護実践と理論 看護政策論 公衆衛生看護管理論 看護管理 看護教育論 <u>災害看護論</u>
臨地実習	ケアリング文化実習 基礎看護実習Ⅰ	基礎看護実習Ⅱ 公衆衛生看護実習Ⅰ	在宅ケア実習 成人看護実習Ⅱ 母性看護実習 小児看護実習 高齢者看護実習 精神看護実習	成人看護実習Ⅰ 総合実習 公衆衛生看護実習Ⅱ 公衆衛生看護実習Ⅲ

※下線の科目は選択科目である。

※国際看護学Ⅱ（選択科目）は2年次～4年次の間で履修できる

教職課程（養護教諭一種免許状取得）の履修計画について

*別途配布の「教職課程のてびき」参照

1. 免許状について

養護教諭の免許には、一種免許状と二種免許状および専修免許状がある。一種免許状は養護教諭養成施設において、必要な教職科目の履修と養護実習を履修することにより取得できる免許である。二種免許状は保健師免許取得後に申請により免許を取得することができる。専修免許状は修士（大学院卒業）の学位を有することを基礎資格とし、一種免許状に加え大学院で教職に関する科目などの単位を一定以上取得する必要がある。名桜大学では一種免許と保健師国家資格取得後の申請による二種免許の取得が可能である。

沖縄県の場合、これまでは二種免許状でも教員採用試験を受けることができたが、今後は一種免許状での採用に切り換えられることが検討されている。そのため、卒業後に養護教諭として就職を希望する場合は、一種免許状の取得が必要となる。二種免許状の場合、臨時任用や非常勤の養護教諭として働いた勤務年数や教職科目の履修状況により、一種免許状への切り替えが可能である。勤務場所によって切り替え時に必要な手続き（追加履修や研修等）が変わるため、勤務する都道府県教育委員会管轄課への確認が必要である。また、看護学科は、卒業後に教職科目の履修や養護実習を行って養護教諭一種免許状の取得ができるように科目履修生の制度を設けている。この制度は名桜大学の卒業生に限定しており、他大学を卒業した場合は利用できない。

2. 必要単位数について

養護教諭の教職課程履修科目は、基礎資格及び大学において修得することを必要とする最低単位数として、表8に示したように定められている。詳細は入学年次の別途配布する「教職課程のてびき」を参照する。

表8. 一種免許状取得のための基礎資格及び大学において修得することを必要とする最低単位数と科目名

基礎資格	学士の学位を有すること		
大学において修得を必要とする最低修得単位数	教職に関する科目	教職研究 教育原理 教育心理学 教育制度論教育課程論 特別支援教育研究 特別活動の指導法 メディア教育論 教育方法 道德教育の研究 生徒指導の理論及び方法 教育相談 教育実習事前指導 養護実習 教職実践演習	21 単位
	養護に関する科目	公衆衛生学 疫学 学校保健 養護概説 健康相談活動の理論と 方法 栄養学Ⅰ 栄養学Ⅱ 解剖生理学 病態生理学 免疫学 薬理学 精神保健 看護学概論 看護援助論 基礎看護実習Ⅰ 看護実践方法論 基礎看護実習Ⅱ 小児看護実習 成人看護学方法論Ⅱ	28 単位
	養護または教職に関する科目	養護に関する科目の 28 単位の超過修得単位が換算	7 単位
	合計単位数		56 単位
	その他の指定科目	憲法 体育実技Ⅰ 体育実技Ⅱ ベーシック・イングリッシュⅠ ベーシック・イングリッシュⅡ コンピュータ・リテラシー	10 単位
総合計単位数		66 単位	

3. 履修計画について

看護の卒業要件に必要な必修および選択科目の履修に加えて、『教職に関する科目』、『養護に関する科目』『その他の指定科目』を履修する。看護の卒業要件に必要な科目と、教職課程の科目の講義時間が重なった場合は、看護の卒業要件科目を優先する。3年生前期終了時には、それまでの科目取得状況や、履修した全科目のGPAによって、4年生の教育実習履修者を選定するため、1年次の時から、それぞれの科目で『秀または優以上』の成績を取っておくことが必要となる。科目履修および教育実習の履修条件については、別途配布される「平成26年度教職課程のてびき」をよく確認する。

3年生後期には、1週間（1単位）の教育実習（養護教諭実習）事前指導の講義・演習を受講する。また、11月～12月頃から、学生自身で教育実習学校（沖縄県内小・中・高等学校）との連絡・調整を行う。12月頃には、教育実習学校や実習時期が決定される。教育実習時期は、看護領域の臨地実習時期と重ならないように、担当教員と相談しながら決定する。

4年生前期は、成人看護実習Ⅰの臨地実習と時期をずらして4週間の学校現場での教育実習が行なわれる。4年生後期には、「教育実践演習」（2単位）が必修になっている（詳細については、別途配布される「平成26年度教職課程のてびき」を参照）。

